

開会中の

営業戦略農林水産委員会 (高橋勝則委員長)

安全・安心な水稻の省力化栽培と「石岡のおまつり」を調査 (5/20)

(株)北龍ファーム (龍ヶ崎市)

(株)北龍ファームは、龍ヶ崎市内を中心に年々規模を拡大している水稻農家で、田んぼに直接種をまいて稲を育てる直播栽培や農業用ドローンを使った病害虫防除作業などの省力化技術を積極的に導入しています。また、コメでJGAP*を取得し、高水準の品質・安全性の確保に取り組んでいます。

令和3年3月に導入した乾燥調製施設(ライスセンター)を視察し、現在の取り組み状況や今後の課題について説明を受けました。



省力化技術やJGAPの取り組みについて説明を受ける委員

石岡市役所

石岡市では、「石岡のおまつり」を令和3年12月に「常陸国総社宮祭礼の獅子・山車・ささら行事」として、祭礼行事そのものを石岡市無形民俗文化財に指定しました。

「石岡のおまつり」は関東三大まつりの一つであり、毎年9月に行われ、期間中は約50万人の見物客で市街地が大変にぎわいます。今後、県・国の無形民俗文化財指定を目指しています。

おまつりの概要や入込客数増加に向けた取り組みについて説明を受けました。



「石岡のおまつり」について説明を受ける委員

土木企業立地推進委員会 (長谷川重幸委員長)

(仮称)上曽トンネル整備事業と一級河川八間堀川河川改修事業を調査 (5/12)

(仮称)上曽トンネル整備事業
(合併市町村幹線道路緊急整備支援事業) (桜川市)

桜川市真壁町山尾と石岡市上曽間の上曽峠を通る主要地方道石岡筑西線は、山岳道路であり、冬季降雪時には通行規制を余儀なくされています。本トンネルの整備により、災害時の緊急輸送や筑波連山を挟む地域間の交流促進および地域振興が期待されます。また、県西地域から茨城空港までを結ぶ基軸が形成され、物流や観光を支える重要な路線となります。

本事業の整備状況について、筑西土木事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



トンネル内部で整備状況を確認する委員

一級河川八間堀川 河川改修事業 (常総市)

一級河川八間堀川は、下妻市加養地先を上流端とし、常総市水海道橋本町地先で新八間堀川に分岐し、常総市水海道淵頭町地先において小貝川と合流する全体延長17.77*の河川です。

大雨による浸水の被害などを防止し、地域住民が安心して暮らせるよう、現在は主要地方道土浦境線から上流の千代川工区4.65*で事業を進めています。

本事業の整備状況について、常総工事事務所から説明を受けた後、現地調査を実施しました。



事業の進捗について説明を受ける委員

文教警察委員会 (水柿一俊委員長)

茨城農芸学院と県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校を調査 (5/16)

茨城農芸学院 (牛久市)

茨城農芸学院では、送致された少年に対して、その特性に応じた適切な矯正教育、その他の健全な育成に資する処遇を行うことにより、改善更生と円滑な社会復帰を図っています。近年は新たに、牛久シャトーのブドウ栽培協力を行うなど、地域と連携した先進的な取り組みを行っています。

施設概要や取り組み内容について説明を受けるとともに、施設の視察を行いました。



茨城農芸学院で説明を受ける委員

県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校 (龍ヶ崎市)

県立竜ヶ崎第一高等学校・附属中学校では、民間出身の校長を中心として、高校ではスーパーサイエンスハイスクールに指定され、附属中学校ではロボットコンテスト全国中学校大会で優勝するなど、先進的な取り組みと実績を築いています。

取り組み内容について説明を受けるとともに、校内の視察を行いました。



校内を視察する委員